

年 組 名前：

空中栽培スイカ 実る

中小河原町・功刀さん方で収穫期



空中栽培したスイカを見つめる功刀博文さん＝甲府市中小河原町

甲府市中小河原町の功刀博文さん(81)方で、アーチ状の棚を使った空中栽培のスイカが収穫期を迎え、地域住民の話題となっている。功刀さん方の広さ約10平方メートルの畑には直径約6センチの小玉のスイカ約40個がなっている。功刀さんがスイカの栽培を始めたのは今年からで、5月に苗を植えた。6月初旬に花が咲き、実を付け始めたときには重さで落下しないように網で支える処理をした。

市農業センターによると、甲州市では遊休農地のブドウ棚を活用してカボチャを空中栽培する事例があるが、スイカの空中栽培は「甲府市で普及しているとは言えず珍しい(担当課)。空中栽培の利点として、地面で栽培するより少ない面積で多くの収穫が期待できることや、土に触れていないために病気の予防につながるなどが挙げられるという。功刀さんは「キュウリの栽培方法を応用して試してみたが、立派なスイカがなったのでよかった」と喜んでいる。

〈三枝大悟〉

(2024年7月10日付 山梨日日新聞15面)

【 記事を先生や家族に読んでもらうか、自分で読んだ後に、答えてください 】

問1 甲府市の功刀さんは、なにを使ってスイカの空中栽培をしていますか。

.....

問2 功刀さんの畑には、何センチのスイカが何個なっていますか。

約.....センチのスイカが.....個なっている

問3 空中栽培の利点を2つ答えてください。

.....
.....